

ベルリン・サミット宣言 - 人々を取り戻すために

自由民主主義国家はいま、人々の不信の波に直面しています。人々の大多数に奉仕し、私たちの未来を脅かす複数の危機を、解決する能力に対する不信です。これは気候変動から、耐え難い不平等、そして大規模国際紛争に至るまで、真のリスクに対処せず、怒りを利用する危険なポピュリズム政策の世界へと、私たちを導く恐れがあります。人類と地球への大きなダメージを回避するためには、人々の憤りの根本原因を早急に突き止めなければなりません。

このような不信感が拡大している原因のかなりの部分は、自分自身の生活や社会変化の道筋をコントロールできなくなった、またはそのように思えるという実感が広まったせいだという証拠が、数多くあります。このような無力感は、グローバリゼーションや技術革新に起因するショックが引き金となったもので、現在では気候変動や人工知能(AI)、インフレーションによって増幅されています。

信頼を取り戻すということは、こうした能力を再構築するということです。私たちは決定的な答えを持っているとは言いません。しかし、これほど不信が生まれたのはなぜなのかについての、いくつかの基本的な教訓に基づいて、政策を再設計・強化することが極めて重要であると考えます。そのためには、以下のようなことが必要です。

- 経済効率を何よりも優先する政策や制度から、繁栄の共有と質の高い雇用の創出に重点を置く政策や制度へと、方向転換すること
- 新産業を支援することによって、地域の差し迫った混乱に積極的に対処し、イノベーションを多くの人々の富の創造に向けるような、産業政策を策定すること
- 産業戦略を、産業セクターに補助金や融資を与えてその現状を維持させるのではなく、温室効果ガスネット・ゼロのような目標達成に向けた投資やイノベーションを支援するものとする
- 社会的弱者を保護し、気候変動政策で国際協調するというニーズと、自由貿易のメリットとのバランスをとりつつ、決定的な利害については自国でコントロールできるようにする、より健全なグローバリゼーションの形を設計すること
- 金融市場の自律性や相続によって強められている、所得と富の不平等に対処するために、低賃金の人々の力を強化し、高所得や富に適切に課税し、あるいは社会的相続のような手段によって、平等な初期条件を確保すること
- 合理的なカーボンプライシングと、炭素排出削減のための強力なポジティブ・インセンティブおよび野心的なインフラ投資とを組み合わせ、気候政策の再設計
- 途上国が将来への展望を損なうことなく、気候トランジションおよび緩和・適応策に着手できるように、必要な資金と技術的資源を確保すること
- 共同的行動と市場との新たなバランスを確立して、自滅的な緊縮財政を避けつつ、効果的なイノベーション政府に投資すること
- 高度に寡占化した市場において、市場支配力を減じること

私たちは今、重要な時期を生きています。市場だけでは、気候変動を食い止めることも、富の分配の不平等を減らすこともできません。トリクルダウンは失敗しました。対決的な保護主義への回帰か、人々の懸念に応える新たな一連の政策か、私たちは今その選択に直面しています。新たな産業政策と、良質な雇用、より良いグローバル・ガバナンス、そしてすべての人々のための気候政策を、どのように設計するかについては、画期的な研究結果がたくさんあります。今、それらをさらに発展させ、実践していくことが重要です。必要なのは、単に症状に焦点を当てたり、単純な答えを持っているふりをするポピュリストの罠に陥ったりするのではなく、人々の不信感の真因に取り組む新しい政治的コンセンサスです。

地政学的な利害の対立により世界中で武力紛争の危険性が高まる中、リベラルな民主主義国家は、その前提として、自らの価値を守り、直接的な敵対関係を解消する能力を示す必要があります。

人々と政府を運転席に戻す試みは、多くの人々の幸福を促進するだけではありません。それは、危機を解決し、より良い未来を確保するための社会の能力に対する信頼を再び育む助けとなるでしょう。人々を取り戻すためには、人々のためのアジェンダが必要です。無駄な時間はありません。

署名者リスト:

